

- 経理上手くんα ProⅡ 【学校法人】VERSION:11.102
- 経理上手くんαクラウド ProⅡ 【学校法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ 【学校法人】
VERSION:11.102

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1・10 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力

証憑読取にて、ハンディスキャナで読み取りができるように対応しました。

※証憑読取は電帳法対応オプションをご契約時のみ利用可能です

➤ チェックリスト

- ①無効なインボイス登録番号を確認しやすくするため、適格請求書発行事業者チェックリスト出力時に無効な登録番号のみを表示できる設定を追加しました。

◆ 決算

➤ 財産目録

- ①【F11 詳細入力】において、「数量」欄の整数部に対する入力制御を見直しました。
②【F11 詳細入力】において、「数量」欄にマイナスの値を入力した際の表示制御を見直しました。

◆ 導入・更新

➤ 翌期更新

- ①部門の登録件数が 3,000 件を超えるマスターで、特定科目の部門残高が存在している状態で翌期更新を実行すると、エラーメッセージを表示して更新に失敗する不具合を修正しました。

◆ その他の改良・修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人 d b (VERSION: 11.102) の変更点**”を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:11.102) の変更点

改 良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①証憑読取において、ハンディスキャナで読み取りができるように対応しました。

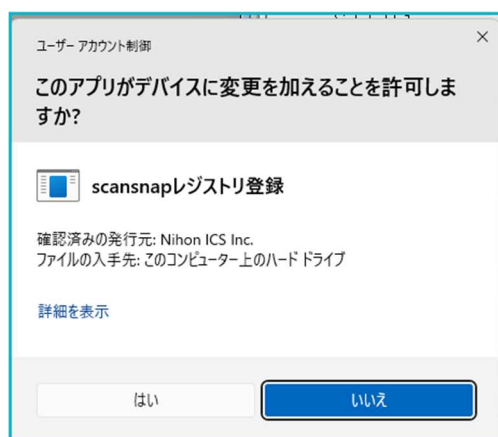
※証憑読取は電帳法対応オプションをご契約時のみ利用可能です。

《対応詳細》

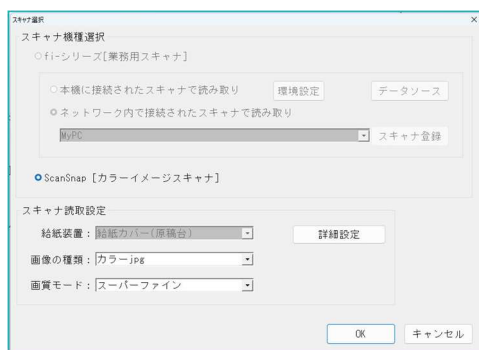
(1)証憑読取画面（証憑・カード・通帳モード）に「スキャナ読取」「スキャナの設定」ボタンを追加し、スキャナの状態も確認できるようにしました。（変更前後の画面は後述の画像を参照ください。）

※対象は、証憑・カード・通帳すべてのモードとなっています。

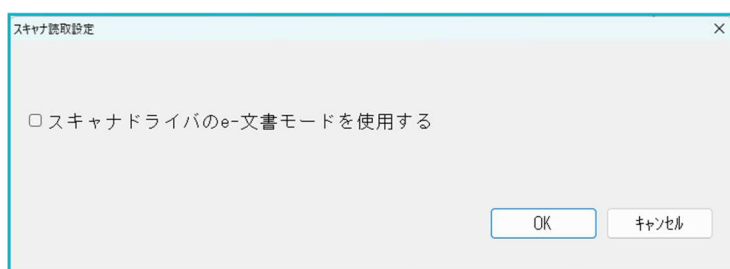
(2)ScanSnapHOME のドライバを入れた環境で、初めて経理上手くん a（電帳法オプション）から「スキャナ読取」を押下した際に、scansnap レジストリ登録のユーザアカウント制御ダイアログを表示するようにしました。



(3)「スキャナ設定」押下時にスキャナ設定画面を表示し、fi-シリーズは選択できないように制御しています。



(4)「詳細設定」では、既存プログラムと同様にチェックを ON にして読み取りすることで、ScanSnapHome ドライバの e-文書モードでスキャンするようにしました。



＜変更前＞（証憑モード）

＜変更後＞（証憑モード）

2) チェックリスト

- ①無効なインボイス登録番号を確認しやすくするため、適格請求書発行事業者チェックリスト出力時に無効な登録番号のみを表示できる設定を追加しました。

《対応内容》

- 設定画面の詳細項目指定内に「無効な登録番号のみを出力する」チェック項目を追加しました。
- 本項目は「適格請求書発行事業者チェックリスト」を選択している場合のみ有効とし、対象外の帳票では無効化します。（デフォルトはチェック ON）
- 新規会社登録・修正・削除業務の「消費税情報」→「インボイス登録番号の表示」の設定に応じて、本項目の表示／非表示も切り替わります。

<設定画面>

ユーザー一覧: 全ユーザー

部門指定: []

用紙サイズ: A4 用紙・横

指定方法: 通格請求書発行事業者チェックリスト

登録番号: [] ~ []

日付範囲: 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

00 年 04 月 01 日 ~ 00 年 04 月 01 日

○ 付録指定をする

詳細項目指定

- ☐ 科目に科目コードを付加する
- ☐ 税番号を出力する
- ☐ 部門名称を出力する
- ☐ 作成者・修正者情報を表示 (部門名称・税番号は出力されません)
- ☐ 付属コメントを20文字出力する
- ☐ 税額を出力しない
- ☐ 消費税区分を出力しない
- ☐ 1行出力
- ☐ 取消し仕訳を出力しない
- 合計 (仕訳件数) 欄を出力する
- ☐ 証憑番号を出力する
- ☐ インボイス登録番号を出力する
- ☒ 有効な登録番号のみを出力する

印刷

<表示画面 (設定前)>

番号	インボイス登録番号	氏名又は名称	仕訳日付	仕訳摘要	有効・無効
1	T111111111111119		04.01		×
2	T222222222222220		04.01		×
3	T6120001025986	日本ICS株式会社	04.01		○

<表示画面 (設定後)>

番号	インボイス登録番号	氏名又は名称	仕訳日付	仕訳摘要	有効・無効
1	T111111111111119		04.01		×
2	T222222222222220		04.01		×

2) 新規会社登録・修正・削除

- ①既存マスターの修正時に期末日を変更した場合、締日が自動的に書き換わってしまい、意図せず仕訳の集計範囲が変わってしまうのを防ぐために、入力ガイドと確認メッセージを追加しました。
- ※新規会社作成時は従来どおり、期末年月に応じて締日が自動設定されます。

《対応内容》

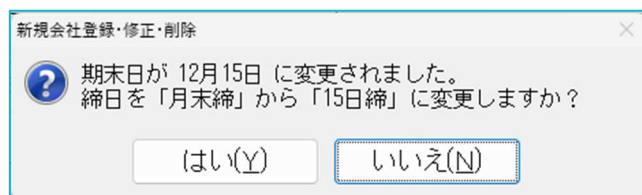
- (1)「締日」の右側に、月末締めは「0」を入力する旨のガイドメッセージを常時表示するようにしました。

業種区分	選択してください	
処理形式	法人事業	
会社コード	年次	
法人番号		付加して印刷する
会社名		付加して印刷する
5の音		
決算期	未設定	
決算期間 期首	未設定	
期末	未設定	
締日	月末締	月末締の場合は「0」を入力してください
入力開始処理月	未設定	
決算修正処理	行う (期末決算)	

- (2)期末日変更時に入力した期末日から求めた締日と現在設定中の締日が異なる場合は、確認メッセージを表示するようにしました。

メッセージは「はい(Y)」 「いいえ(N)」の2択とし、「はい(Y)」なら締日を変更、「いいえ(N)」なら締日を変更しません。(初期選択は「いいえ(N)」です。)

<確認メッセージ>



Ⅱ. 決算

1) 財産目録

①[F11 詳細入力]において、「数量」欄の整数部に対する入力制御を下記のとおり見直しました。

《対応詳細》

(1)従来の仕様

整数部 6 桁目を入力した時点で、値を再表示する制御が行われていました。

ただし、その後も入力を継続できるため、入力内容が先頭から順に上書きされ、意図しない値となる場合があります。

(2)対応後の仕様

入力途中での値を再表示する制御を廃止しました。

Enter 等による入力確定時にのみ、整数部 6 桁を超える部分を切り捨てる方式に変更しました。

《数値例》

(1)対応前

- ・「12345」入力後に「6」を入力
→「12345.00」と表示
- ・続けて「7」を入力
→「71234.00」と表示（先頭から順に上書きされる）

(2)対応後

- ・「12345」入力後に「6」「7」を続けて入力
→「1234567」と表示
 - ・入力確定時（Enter 押下等）
→6 桁を超える部分を切り捨て、「12345」と表示
- ※入力確定前の整数部は最大 8 桁まで入力可能です。

② [F11 詳細入力] において、「数量」欄にマイナスの値を入力した際の表示制御を、下記のとおり見直しました。

《対応詳細》

(1)従来の仕様

「-」マイナスを入力した場合、Enter 押下等により該当欄からフォーカスが移動した後も、マイナス値のまま表示されていました。

ただし、ダイアログを閉じて再表示した場合は、正の数として表示されていました。

(2)対応後の仕様

「-」マイナスを入力した場合、Enter 押下等により該当欄からフォーカスが移動したタイミングで、正の数として表示するように変更しました。

《数値例》

(1)対応前

- ・「-12」を入力後、Enter を押下
→「-12.00」と表示
 - ・ダイアログを開き直す
→「12.00」と表示
- ※正の数として表示される。

(2)対応後

- ・「-12」を入力後、Enter を押下
→「12.00」と表示
※正の数として表示される。
- ・ダイアログを開き直す
→「12.00」と表示
※表示内容に変更なし。

修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①部門の登録件数が3,000件を超えるマスターで、特定科目の部門残高が存在している状態で翌期更新を実行すると、エラーメッセージを表示して更新に失敗する不具合を修正しました。

II. 決算

1) 財産目録

- ①[F11 詳細入力]で数量に小数を入力した際、再表示時に小数部の数字が変わってしまう不具合を修正しました。

《現象例》

- ・数量欄に「5000.4」と入力して画面を閉じた後、再表示すると「5000.39」となっていました。

以上